

長大医歯薬総第1478号

平成23年 3月14日

各関係機関の長 殿

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
先端医育支援センター教授候補者選考委員会委員長

松山俊文

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先端医育支援センター教授候補者の  
推薦依頼期間延長について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記につきましては、平成23年1月5日付け長大医歯薬総第1132号（別紙写）で依頼しておりましたが、この度、本学の都合により推薦依頼期間を平成23年4月11日（月）〔必着〕まで延長することになりました。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮に存じますが、貴機関関係者に再度周知頂くとともに、適任者のご推薦をよろしくお願い申し上げます。

敬 白

各 関 係 機 関 の 長 殿

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
先端医育支援センター教授候補者選考委員会委員長 松山 俊文

先端医育支援センター教授候補者の推薦について(依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、本学では、先端医育支援センター教授を選考することになりました。先端医育支援センターは従来の講座の枠を越えて教育の企画立案・評価・改善に専念する部門として発足し、教授は、医学教育に関する教務全般の実施、教育改善について担当していただきます。また、全学教育(一般教育)にも携わっていただくこととなります。

本学では、下記の資質を有する方を求めています。

1. 医学教育および医科学分野における優れた実績と研究業績を有すること。
2. 医学教育における指導能力と熱意を有すること。
3. 人格、識見に優れていること。

なお、先端医育支援センターでは次に関する業務を行っております。

- (1) カリキュラム
- (2) 学生の修学
- (3) 共用試験(CBT, OSCE)
- (4) 卒業試験、5年次試験
- (5) 医師国家試験
- (6) 倫理教育
- (7) ファカルティ・ディベロップメント(授業評価を含む)
- (8) 教育関係の競争的配分経費(GP等)
- (9) 卒後臨床教育・大学院教育との連携
- (10) その他医学教育

適任者の推薦につき、ご配慮頂ければ幸甚に存じます。

また、医歯薬学総合研究科では、任期制(5年、再任可)を採用しておりますことを申し添えます。

敬白

記

## 1. 提出書類

- (1) 履歴書〔別紙様式1〕
- (2) 業績目録〔別紙様式2〕
- (3) 業績一覧〔別紙様式3〕
- (4) 学術論文別刷(2006年以降)
- (5) 主要研究業績(学術論文等)の概要〔別紙様式4〕
- (6) 教育実績〔別紙様式5〕
- (7) 科学研究費、その他の助成金の受領状況、特許の取得状況、学会等での受賞状況及び加入学会のリスト〔別紙様式6〕
- (8) 医学教育専任教授としての抱負(4000字程度)〔別紙様式7〕
- (9) 推薦状(様式は問いません。)

## 2. 締切日 平成23年2月15日(火) 必着

## 3. 提出先

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4  
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科先端医育支援センター  
教授候補者選考委員会委員長 松山 俊文 宛  
(長崎大学 医歯薬学総合研究科 総務課総務係 気付)

提出書類は、封筒の表に「先端医育支援センター教授応募書類在中」と朱書し、書留便で送付して下さい。

なお、業績目録〔別紙様式2〕については、Word形式ファイルを長崎大学医歯薬学総合研究科総務課総務係(syo\_med@ml.nagasaki-u.ac.jp)宛に電子メールでも別途提出して下さい。

## 4. 本件に関する問い合わせ先

長崎大学医歯薬学総合研究科 総務課総務係  
TEL 095-819-7004 (ダイヤル) FAX 095-819-7166

## 5. 附記

選考の過程において、教育に関するご講演をいただくため、ご来学願うことがありますので、ご承知おき下さい。

選考中に他学から教授候補としてノミネートされ、候補者となることを受諾されました場合は、委員長宛ご連絡下さいますようお願いいたします。

なお、長崎大学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。

## 記 載 上 の 注 意 事 項

### 1. 履 歴 書 (様式1)

- (1) 本籍地は都道府県名のみ記入して下さい。
- (2) 学歴の欄には、高等学校卒業以降大学卒業、大学院修了まで記入して下さい。
- (3) 履歴の空白部分には説明をつけて下さい。
- (4) 免許及び資格の欄には認定医・専門医・指導医についても記入して下さい。
- (5) 学位の欄には取得年月日及び授与された大学名も記入して下さい。
- (6) 職歴(研究歴を含む)の欄には、所属教室、研究部門、診療部門(科)等を記入して下さい。
- (7) 職歴には、外国出張(半年以上)等も記入して下さい。

### 2. 業 績 目 録 (様式2)

次の区分、次の順序で、欧文と和文に分けて、過去から現在の順に記載して下さい。

#### I. 学術論文(様式2-1)

- (1) 著書・原著・総説・その他(研究報告書、プロシーディングス等を含む)に区分し、この順序で記載して下さい。
- (2) 著者全員の氏名を当該論文に記載されている順に記入し、本人の部分にアンダーラインを付して下さい。
- (3) 引き続き二つ以上の論文が同一誌に掲載されている場合でも同誌、*ibid.*などとせず誌名を記入して下さい。
- (4) 投稿中の論文については、掲載受理の承諾書のあるものだけを記載して下さい。
- (5) サイエンス サイテーション インデックス (S C I) に採用されている雑誌は論文番号の左側に○印を付け、インパクト ファクター (2009年版) を記載して下さい。

#### II. 学会発表(様式2-2)

次の条件に合致する本人発表分に限り記載して下さい。

- (1) 国内学会については、特別講演、シンポジウム、パネルディスカッション等を、国際学会については、一般演題を含め、全ての発表分を記載して下さい。

### 3. 業 績 一 覧 (様式3)

- (1) 業績のまとめを記入して下さい。

### 4. 学 術 論 文 別 刷

- (1) 2006年以降の論文について別刷を提出願います。ただし、著書については、表紙と分担部分のコピーでも差し支えありません。
- (2) 未印刷の論文については、その原稿又はそのコピーに掲載受理の承諾書を添付して下さい。
- (3) 別刷は、業績目録(様式2)の番号を別刷に記載のうえ、順番に並べて提出して下さい。

### 5. 主要研究業績(学術論文等)の概要(様式4)

- (1) 医学教育に関する論文、著書のすべてについて記入して下さい。  
また、代表的な学術論文、著書のうち、10編以内について記入して下さい。
- (2) 共著の場合は、本人の氏名を含め著者全員の氏名を当該学術論文等に記載された順に記入して下さい。
- (3) 「概要」欄には、学術論文等の概要を200字以内で記入して下さい。

### 6. 教 育 実 績 (様式5)

- (1) 【学部教育】 過去5年間に担当した授業科目と内容及び年間時間数を記入して下さい。  
【大学院】 過去5年間に担当した大学院担当科目及び年間時間数を記入して下さい。  
参考資料(シラバス等の該当部分のコピー)がある場合は添付して下さい。
- (2) 実習(学部・大学院)に関しては、内容をまとめてご提出下さい。  
また、その際に使用した指導書等がありましたら、併せてコピーを添付して下さい。
- (3) 教育に関する組織運営・企画・管理等の実績があれば記載して下さい。

### 7. 科学 研 究 費 及 び 加 入 学 会 等 (様式6)

- (1) 研究代表者及び研究分担者としての科学研究費、その他の助成金(種類、課題名)の受領状況を記入して下さい。なお、研究分担者の場合は、分担金が配分されているものに限ります。
- (2) 特許の取得状況、学会等での受賞状況(課題名を含む)及び加入学会(会名、役職名)を記入して下さい。
- (3) その他の特記すべき活動がありましたら記入して下さい。

### 8. 医学教育専任教授としての抱負(様式7)

- (1) 国内外の医学教育をとりまく状況を踏まえ、入学試験から卒業・国家試験に至る医学教育の現状分析・望ましい姿・改善の方策について論述し、医学教育専任教授としての抱負を記入して下さい(4000字程度)。

### 9. そ の 他

様式については、添付している様式自体を使用せず、同様の様式をワープロ等で作成したものを使用して差し支えありません。ただし、大きさはA4版にして下さい。

なお、様式中の各項目の幅は、記載内容の多少により適宜変更しても差し支えありません。